



# 令和3年度 長沢中学校 学校評価報告

令和4年3月

学校長 星野 嘉朗

このたびは、学校評価アンケートにご協力いただきありがとうございました。

学校評価アンケートは、①開かれた学校づくり ②教育活動、内容の質の向上 ③学校の活性化 ④教職員の資質向上を目的として、全校生徒、保護者を対象に実施しました。アンケート結果について、ここに報告させていただきます。

## <評価アンケート実施対象者と回収率>

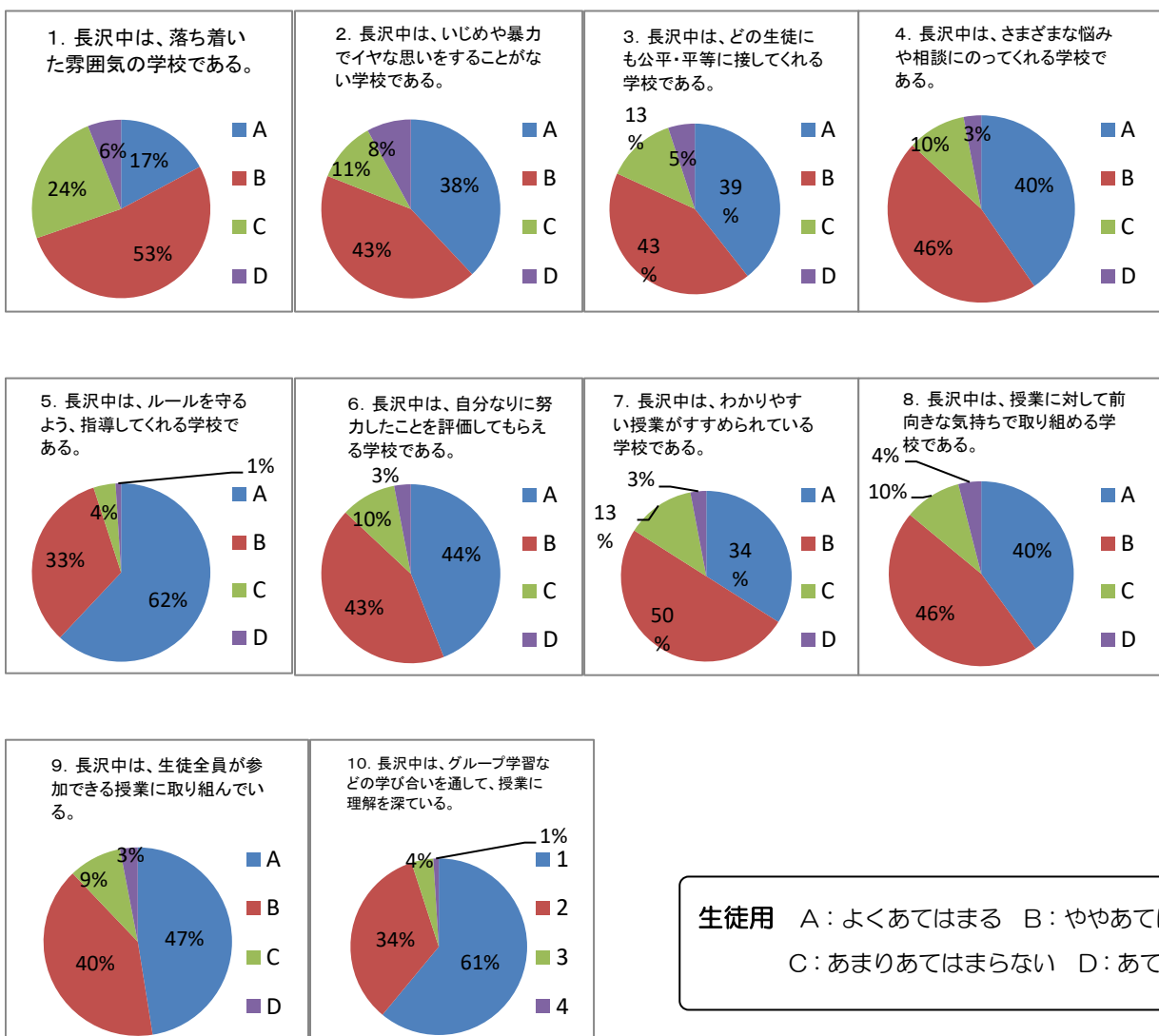
### 生徒による評価の回答数

1年生 88名(在籍96名) 91.2%  
 2年生 157名(在籍163名) 96.3%  
 3年生 128名(在籍147名) 87.1%  
 回答数 373名(在籍406名) 91.87%

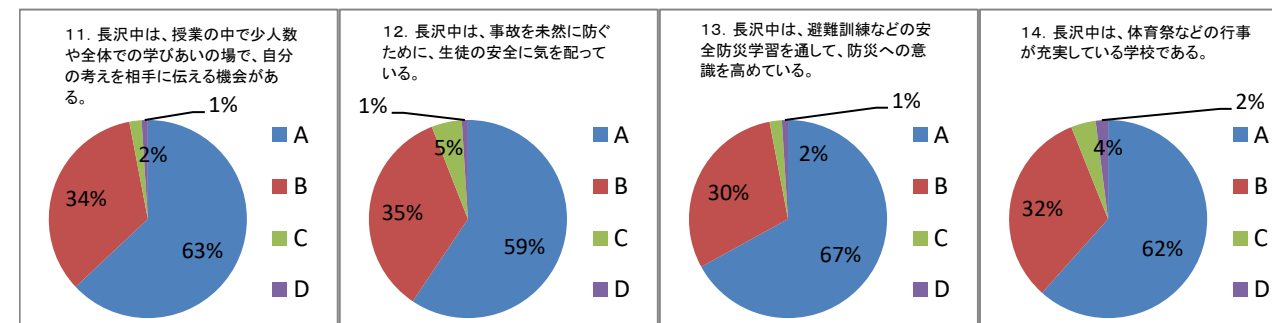
### 保護者による評価の回答数

1年生 74名(在籍96名) 77.1%  
 2年生 146名(在籍163名) 89.5%  
 3年生 101名(在籍147名) 68.7%  
 回答数 321名(在籍406名) 79.1%

## <生徒用アンケート集計結果>

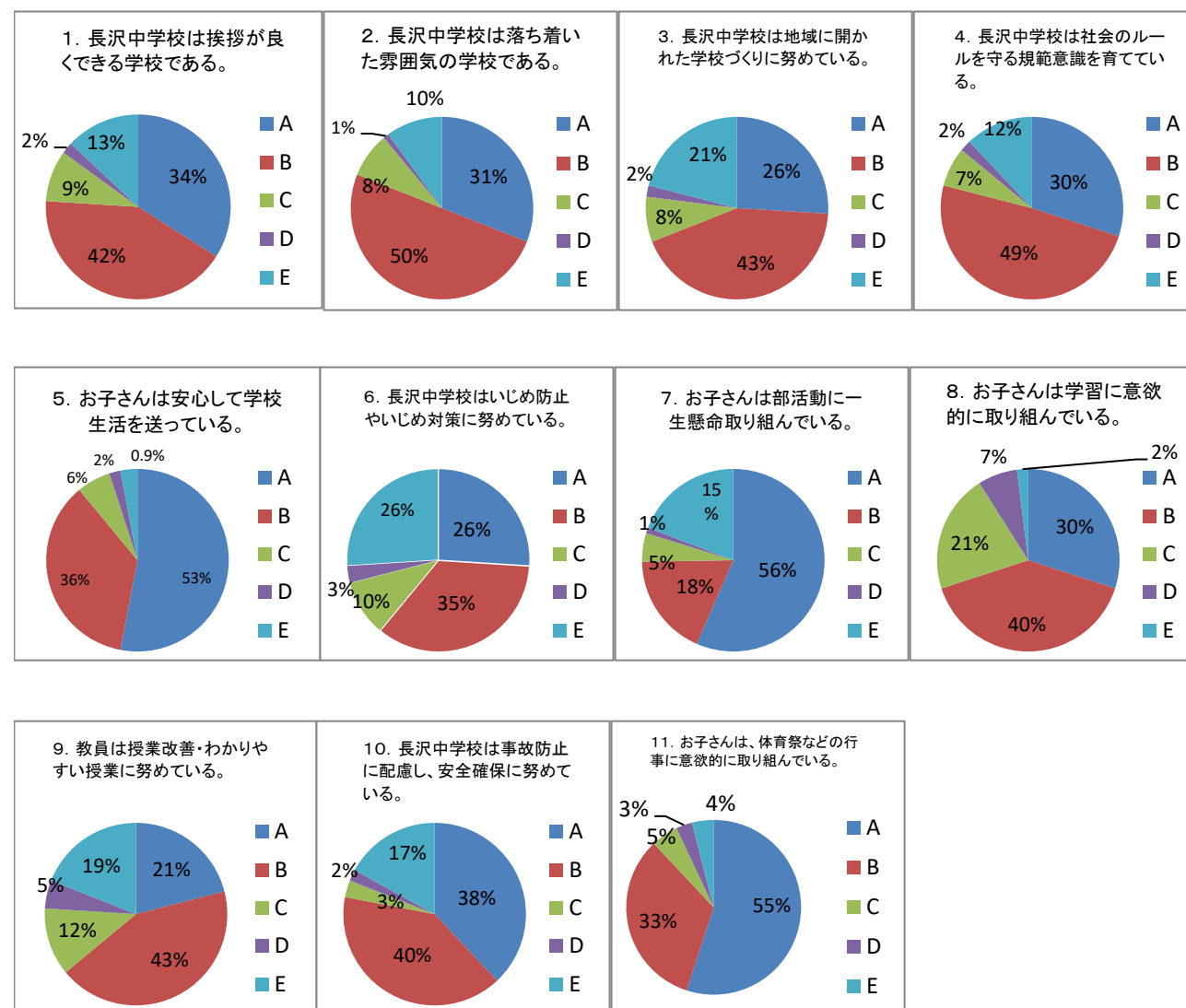


生徒用 A:よくあてはまる B:ややあてはまる  
 C:あまりあてはまらない D:あてはまらない



## <保護者用アンケート集計結果>

保護者 A:よくあてはまる B:ややあてはまる  
 C:あまりあてはまらない D:あてはまらない  
 E:判断できない



### 【学校長より】

\*今年度は、学校教育目標を「命（いのち）一杯に生きる」とし、目指す生徒の姿を「深く考え行動する生徒」と明確に打ち出しました。コロナ禍の影響を受け、全体が多くの制約を受けながらの1年間で、行事の縮小・中止もあり、育てようとしている力の育成はまだ不十分であったと考えています。また、学校を開くことが難しい状況もあり、生徒の姿を通してのみ、学校の現状を判断していただくしかありませんでした。そのような中で、フロンティア研究委託校として3年目となり、授業のスタイルも主体的・対話的な深い授業のあり方を共有できるようになりました。生徒・保護者とも全体としてすべての項目で、肯定的な結果となっています。しかし、保護者アンケートで「わからない」との回答が20%近くあるものもあり、次年度、コロナ禍が終息した後の、学校の流れの改革を進めていく必要があると感じています。

\*課題となっている「落ち着いた雰囲気」についてのポイントは7割近くではあるが、特に2・3年生の3割近くの生徒が否定的な回答をしているところに、学習に前向きに迎えるよう日常の指導を丁寧に行い生徒だけでなく、保護者の皆様との信頼関係の醸成に努め、安心・安全で何事にも前向きに取り組む雰囲気を大切に、一人ひとりに居場所のある学校づくりを進め、「考え行動する力」の育成に努めます。

### 【教務】

\*今年度も合唱コンクールは中止となり、体育祭も延期をして10月に縮小して行いました。しかし、行事についての生徒の回答は、「充実している」「やや充実している」という肯定的なものが94%を占め、昨年と同じような高い水準になっています。縮小された行事の中でも、生徒たちは活動に充実感を得ることができていました。

\*保護者に関しては生徒とよりは低い88%となっていますが、保護者の入場を3年生の保護者のみに限定した中でも、お子さまとのコミュニケーションの中で、体育祭の充実感等を共有していただけたのではないかと思います。

\*長沢中の伝統であった合唱コンクールも2年連続で中止になってしまい、行事を通して得ることのできる達成感や、クラスの絆など普段の授業では学ぶことができない貴重な機会が少なくなっています。次年度以降も大きく状況が改善するとは考えにくいので、その中でも生徒にとって、主体的・対話的で深い学びのできる教育課程を編成していけるように工夫していきます。

### 【管理】

\*事故防止の安全の確保について生徒は「良くあてはまる」67%（アンケート13）に対し、保護者では38パーセント（アンケート10）と開きがあり、防災に対して学校・家庭が一体となって取り組んでいるという感じが薄れています。本年度も昨年度同様に保護者の方が来校する機会が減り、学校の様子がわかりにくい面もあったかと思いますが、来年度は防災訓練の場に保護者の参加も試みるなど、学校の活動を保護者の方々にご理解を深めていく必要があると考えます。

\*) 防災学習としては「阪神大震災」と「東日本大震災」のビデオを中心に学習しましたが、身近な事例に生徒たちも関心深く取り組み、また担任の教師からの生の声で「自分の身を守る大切さを伝えることができました。ビデオ学習については来年度も引き続き行っていく予定です。

### 【生活】

\*『落ち着いた雰囲気』や『ルールを守る』などの規範意識を問う質問について、肯定的な回答の方が多いが、生徒アンケートで否定的な回答が3割を超えるものがある事態を重く見ております。これからも教職員が一丸となって、安心・安全に生活できる学校づくりに取り組んでいきます。（生徒アンケート1・5・保護者アンケート2・4・5）

\*『いじめ防止』については、肯定的な回答が19%と、生活班の中で1人の割合で不安を抱えている可能性があります。いじめをなくすために様々な方策を取っていますが、一定数挙がっているのも事実です。挙がってきた事案については、今後も解決に向けて一つひとつ慎重に対応していきます。（生徒アンケート2・保護者アンケート6）

\*挨拶に関しては、保護者からは肯定的な回答が多くいただいています。今後も、どんな場面でも大きな声で挨拶ができるように啓発していきます。（保護者アンケート1）

### 【学習・連携】

\*学校はいじめ防止やいじめ対策に努めていると61%の保護者が答えており、いじめや暴力で嫌な思いをすることがないと81%の生徒が答えています。昨年度よりわずかに増加しましたが、19%の生徒が否定的な回答をしています。今後も、いじめを許さない、いじめのない学校・学級づくりを目指し、生徒たちのちょっとした変化も見逃さないよう心掛け、いじめ対策にさらに力を入れていきたいと考えています。（生徒アンケート2・保護者アンケート6）

\*「さまざまな悩みに乗ってくれる学校である」と86%の生徒が回答しており、13%が否定的な回答しています。昨年度から7%増加していることから相談しやすい雰囲気づくりに努めた成果がわずかながら表れています。一方、13%という割合と「お子さんは安心して学校生活を送っている」という項目に対し「あまりあてはまらない」「あてはまらない」と8%の保護者が回答していることを踏まえ、学校が安心・安全な場所となるよう、対話する時間を大切に、生徒一人ひとりへの理解を深めていくことが必要であると考えます。（生徒アンケート4・保護者アンケート5）

### 【支援・給食】

\*学校でさまざまな悩みを話したり相談ができたりする生徒が86%、お子さんが安心して学校生活を送れていると感じている保護者の方が89%でした。ご家庭でもお子さんとのコミュニケーションがとれていることが分かります。今後も安心して学校生活を送れるよう、生徒と教師、保護者と教師の信頼関係を大切にしながら、相談しやすい雰囲気づくり、人間関係づくりに努めていきます。また、登校支援相談員・スクールカウンセラー・関係諸機関と連携しながら、よりよい環境を整えられるようにしていきます。

\*今年度9月より、中学校完全給食が始まりました。食事のマナーや食材や食品についての知識、感謝の気持ち（給食に関わる方、家庭）を食育の一環として日々学んでいます。また、食物アレルギーについては学校食育課と連携しながら対応しています。心身の健やかな成長を支える上でも、今後ご理解とご協力をお願いします。